QA 6

問　障がい者の就労を問う
嶺北外の事業所の就労者に支援を

答　助成制度を検討する

三谷よし惠議員

一般就労していない障がい者が、就労継続支援事業所に就労している。事業所はA型、B型があり、工賃に差がある。町内の方が嶺北外の事業所を利用する場合の交通機関定期券に対する助成を要望する。

▽岩﨑憲郎町長
障がいのある方の社会参加の充実を目指して更に就労の継続、充実に向け助成制度を検討する。

就労施設ファースト

QA 7

問　提案理由の内容を問う
コミュニティ再生の取り組みとは

答　集落コミュニティの維持再生に全力で取り組む

▽三谷よし惠議員
提案理由の「集落コミュニティを中心とする地域コミュニティの再生などへの積極的な取り組みを進めます」とは具体的にどのような取り組みをするのか。

▽岩﨑憲郎町長
みんなで支える郷づくり事業の実施を通じて必要でありながら困難な取り組み、また新しく始める取り組みなどの支援を充実し、地域コミュニティの維持、再生に全力で取り組む。

QA 8

問　住民の足の確保サービスを問う

答　効率的で充実した対策が必要

▽三谷よし惠議員
住民の日常に直結するサービスであっても見直すべきものは、住民のコンセンサスを得ながら積極的な改革を進めるとあるが考えを問う。

▽岩﨑憲郎町長
住民の足の確保施策を総合的に見直す時期に来ており、理解をいただける効率的でしかも充実した制度を目指して住民の意見を聴き見直す。

▽三谷よし惠議員
いつまでに作るのか、自家用車がない家庭などには聞き取り調査等をするのか。

▽岩﨑憲郎町長
住民の中から一定の方々に参加してもらう形での検討を考えている。議員の皆さんの意見も聞きながら方向性を見つけていきたい。

QA 9

問　公共施設の管理の在り方は

答　管理を見直す時期に来ている

▽三谷よし惠議員
公共施設の老朽化が進み、耐震化が問われている中、地区公民館や旧小学校等の管理についてどのような計画で進めていくのか。

▽岩﨑憲郎町長
現在個別計画を策定中であり、町の人口や財政規模、施設管理など総合的に判断すると、全ての公共施設を今までどおり管理していくことが困難な状況にある。住民サービスとして個別の施設を見極め、抜本的に見直す時期に来ているので、住民意見も聞きながら、計画をつくる。

旧大豊小学校

QA 10

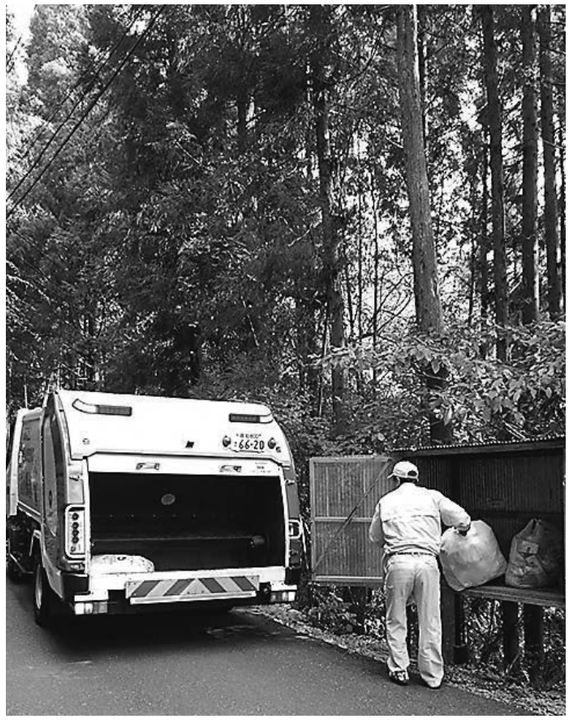
問　ゴミの収集を問う
収集ルートの見直しを要請する

答　常に見直し、よりよいサービスに努める

小川智也議員

ゴミの収集について、住民の高齢化、免許返納等でゴミ出しの時間等負担が多くかかっている問題がある。以前と変らない収集場所、方法では更に高齢化が進む中多くの問題が増えることは必至であるがどう考えるか。

▽岩﨑憲郎町長
各家庭まで回るという状況にない。距離だけではなく高齢化等いろんな状況がある。地域住民の意見を聞きながら必要あれば常に見直す姿勢で取り組んできた結果が今日である。日々の生活の中での問題であるので、個別に情報があれば早急に対応する。



ゴミ収集

▽小川智也議員
個別対応はその場しのぎに過ぎない。解決策として町全体の現状把握は必要であり全区長に協力を要請し、問題点を情報収集し、見直していくべきである。本年度中に情報を基にルートの見直しを行い、来年度に新ルート、新体制で迅速に対応することを要請する。

▽岩﨑憲郎町長
ゴミ収集は、地域のコミュニティの協力で成り立っている。今の形態は急に作ったわけではない。今後も住民の意見を聞き、必要な場合は見直すことにより、どういう形で取り組めばいいかを考え、意見も聞きながらよいサービスにする。

QA 11

問　公共施設の定期点検は
より良い管理体制があるのでは

答　ケースバイケースで対応する

▽小川智也議員
町内の公共施設は壊れたら修理対応という管理体制である。壊れてからの対応では利用する側が困る。壊れる前にプロによるメンテナンスを行う方が施設を長期間維持でき、使用する側も安心して利用できるのではないか。

▽岩﨑憲郎町長
公共施設の点検というのは、利用することがひとつの点検にもなる。住民のための公共施設なので、利用に支障が出ないよう管理をしていくことが責務であり、施設毎にケースバイケースの対応をしていく。

QA 12

問　小中一貫教育を問う
メリット、デメリットの説明を

答　デメリットを解消する対策をする

▽小川智也議員
小中一貫教育基本構想にメリットとして、義務教育9年間の一貫性、独自の教育課程の編成、業務の効率化や専門スタッフの活用等書かれているが、駐車場の確保等一貫教育により良くなること、どのような問題が起きると考え、解決するのかを問う。